

第2回リング会議以降の経過

第2回 世田谷リング会議以降の経過について

年度	平成30年度											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
工程	基本設計											
区	基本設計方針案策定		基本設計方針策定		「基本設計案中間報告」及び「世田谷区民会館整備方針策定へ向けた区の方針」策定			区民会館整備方針策定		基本設計案策定		
世田谷リング会議 (基本設計中 4回程度)	第1回 5/13				第2回 7/28			第3回 11/3		第4回 12/22		
区民説明会			基本設計方針案説明 (全体1回) 6/3					基本設計案中間報告 (5地域各1回) 9/22~24				

第1、2回 世田谷リング会議での主な意見

ケヤキの保存について

- ケヤキをもっと残したい。ケヤキの木が少なくなる印象がある。
- できるだけ移植という形で残して欲しい
- 樹木について、保存可能なものを提示して欲しい。
- ケヤキは残せるものは残してほしいが、無理に残すのではなく、新しく植えるというのも良い。



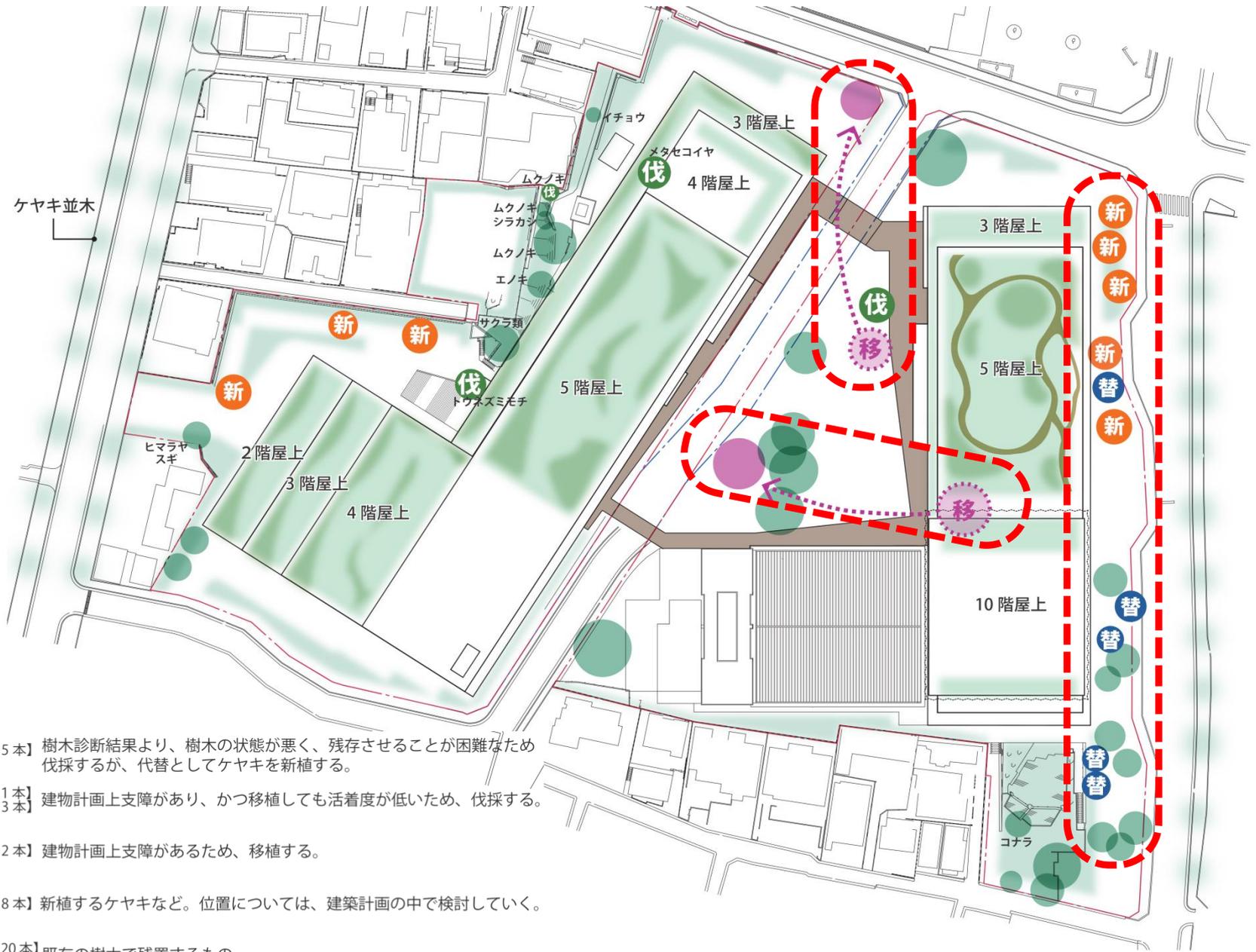
基本設計(案)中間報告

(P15)09. 外構計画(植栽計画)

○ケヤキ並木などのみどりの空間を再生・発展

・既存ケヤキの保存に配慮するとともに、東2期棟の東側にケヤキを新植することで、現在のケヤキ並木を敷地北側まで延伸します。

・来庁者の主な動線上にケヤキ並木をつくり、豊かなアプローチ空間を演出します。



- 【ケヤキ 5本】 樹木診断結果より、樹木の状態が悪く、残存させることが困難なため伐採するが、代替としてケヤキを新植する。
- 【ケヤキ 1本】
● 【その他 3本】 建物計画上支障があり、かつ移植しても活着度が低いため、伐採する。
- 【ケヤキ 2本】 建物計画上支障があるため、移植する。
- 【ケヤキ 8本】 新植するケヤキなど。位置については、建築計画の中で検討していく。
- 【ケヤキ 20本】
● 【その他 8本】 既存の樹木で残置するもの。

※樹種名の記載がないものは、ケヤキとする。

植栽計画と、既存樹木の方針について

第1、2回 世田谷リング会議での主な意見

区民会館の耐震性能

- I類相当である免震構造の庁舎と非免震構造である区民会館において、災害時に建物の損傷の程度に違いが生じた際に、庁舎全体の一体的な利用に支障が出るおそれがあることから、災害時の機能の連続性を考えると区民会館はI類に改修した方が良い。



基本設計(案)中間報告

(P21)15. 世田谷区民会館整備計画 及び 世田谷区民会館整備方針策定へ向けた区の考え方

■世田谷区民会館 整備の基本的な考え方

- ・区民会館ホールについては、災害時の物資集積所としての機能を確保するため、構造体Ⅱ類相当以上の耐震性能を確保することを目標に設計を進めてきましたが、同敷地内に計画する本庁舎を構造体Ⅰ類相当として整備するため、区民会館ホールについても接続する東1期棟と同等の構造体Ⅰ類相当で整備することにより、災害時の機能継続の連続性を向上させます。

第1、2回 世田谷リング会議での主な意見

ユニバーサルデザイン

- 車椅子、ベビーカーでも移動しやすい、バリアフリーな空間を確保してほしい。



基本設計(案)中間報告

(P18)12. 区民サービス

■ユニバーサルデザインについて

(2)利用しやすい移動空間の整備

- ・屋外空間も含め、誰もが歩きやすく、車椅子等での移動がしやすいよう、段差のない動線や避難スペースの確保、手すり・ベンチ等の設置を行います。

第1、2回 世田谷リング会議での主な意見

東1期棟について

- 壁面を少し後退するなどもう少し工夫し、10階建ての部分のすわりが悪い印象を改善してほしい。
- 庁舎にシンボル性があって良い。10階建ての部分は、実際に歩いてくるときには、3階か4階程度までしか目に入らず、上層部はほとんど感じないということになる。
- 東側の建物は5階建て、10階建てでボリュームがあり過ぎる。西棟の世田谷総合支所を本庁舎外に移すことで、東側の建物の負担が軽減されるのではないか。



基本設計(案)中間報告

(P4)O4. 配置計画

- ・東棟は行政機能、議会機能、区民会館機能からなる10階建と区民交流機能、行政機能からなる5階建とし、周辺住宅地への日影や圧迫等に配慮し、4階以上の建物を後退させます。
- ・本庁舎・総合支所・区民会館をリング状にバランスよく配置した中央に、自由な交流を促す広場を創出し、区民にとって魅力的な憩いの場となるよう計画します。

※10階建て部分については、本日第3回リング会議にて意見交換

第1、2回 世田谷リング会議での主な意見

広場について

- 前川建築の継承について、建物だけでなく、みどりを含めた調和や高さなどの佇まいが大事である。
- 建物がセットバックすることで天空の広がりを感じるかもしれないが、テラスがあることによって広場を狭く感じさせる印象があるため、広場の空間特質についてはさらに発展させてほしい。

リングテラスについて

- デッキが張り出している印象があり、広場が狭いという印象を受けた。
- 広場を使用する際に、広場にデッキを支える柱が立つことにより、使いづらくなれないかが心配。人を呼ぶ広場にするには広さが大事であることを考えると、デッキが必要なのか疑問である。
- デッキは広場に影を落として暗くなる印象があるが、一方で雨に濡れずに移動できるなど、良い部分もある。
- 既存区民会館は垂直構成の外観であるの対して、デッキなどの水平要素の組み合わせはどのように処理するのか。
- 車いす利用者がエレベーターを使わずに2階テラスへ上がることができる方法が必要である。

第1、2回 世田谷リング会議での主な意見

西側アプローチについて

- 停電時にエレベーターが使いにくくなることに備えて、西側アプローチの大きな階段のそばにもスロープをつけてほしいが、5 mの高さに対して80 m程度の長さのスロープになるため、有効であるかは悩ましい。
- ケヤキ並木の延長や154号線からのアプローチといった空間特質の継承と創造的な発展について評価できる。

第1、2回 世田谷リング会議での主な意見

さまざまなご意見をいただきました

- デッキの角は丸くすると柔らかい印象となる。
- 区民会館を保存するのであれば、色など新旧建築物の調和に配慮してほしい。
- 免震構造と既存建物の接合部がどのようになるのか示してほしい。
- 区民会館を道路から直接入ることのできる独立した建物とし、「前川ホール」「前川コンサートホール」「前川記念ホール」などの名称として、世田谷区のアイコンにしたい。



引き続き検討し、今後お示しします。

第2回 世田谷リング会議以降の経過について

年度	平成30年度											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
工程	基本設計											
区	基本設計方針案策定		基本設計方針案策定		「基本設計案中間報告」及び 「世田谷区民会館整備方針 策定へ向けた区の方考え方」策定				区民会館整備方針 策定		基本設計案 策定	
世田谷 リング会議 (基本設計中 4回程度)	第1回 5/13				第2回 7/28				第3回 11/3		第4回 12/22	
区民説明会			基本設計方針案説明 (全体1回) 6/3				基本設計案中間報告 (5地域各1回) 9/22~24					

基本設計(案)中間報告 区民説明会 概要

日時	場所	参加者数
9月22日(土) 9時30分～	烏山区民センター (烏山地域)	26名
9月23日(日) 9時30分～	北沢タウンホール (北沢地域)	9名
9月23日(日) 15時～	玉川区民会館 (玉川地域)	18名
9月24日(月・祝) 9時30分～	成城ホール (砧地域)	20名
9月24日(月・祝) 14時～	世田谷区民会館 (世田谷地域)	49名
	合計	122名

基本設計(案)中間報告 区民説明会での主な意見

世田谷総合支所の移転について

- 総合支所のあり方を根本的に見直して、世田谷支所を三軒茶屋にするという地域分散を進める方向で現計画を再考することを改めて要望する。
- 世田谷総合支所は三軒茶屋のふれあい広場に移転することで、建物ボリュームを減らすことができる。
- 世田谷総合支所は三軒茶屋にあったほうが便利ではないか。区民意見はどの程度確認しているのか。



区の回答

- ・三軒茶屋移転については、支所のボリューム確保や費用など諸条件を検討した結果、適地が見出せなかったことから、現在地に残すこととしました。
- ・世田谷総合支所の移転については、今後の長期的な課題として考えています。また、その際、検討をしました三軒茶屋のふれあい広場は、災害時の一時集合場所、地域の憩いの場、地域のイベント会場等として利用されており、現状のまま残す方針です。
- ・これらを踏まえ、また、分散している本庁舎機能を集約する方針の中で、現計画のボリュームは妥当と判断しています。

基本設計(案)中間報告 区民説明会での主な意見

緑化について

- 世田谷区はみどり率33%を掲げているが、本庁舎はどの程度のみどり率となるか。本庁舎は40%を目指して良いのではないか。
- 壁面緑化、屋上緑化を増やしてほしい。
- 屋上庭園の管理はどのように行うのか。
- 新庁舎にグリーンインフラを整備し、常設展示会場のようにできないか。



区の回答

- ・屋上には、太陽光パネルや設備機器があり、建物に必要なスペースもありますが、みどり率については、33%以上を目指して検討していきます。
- ・壁面緑化は日射の抑制効果もありますが、コスト・メンテナンスを含めて検討していきます。
- ・ライフサイクルコストは重要であると考えており、緑化については、維持管理費を考慮し、検討していきます。
- ・雨水浸透施設を整備し、雨水が下水道管へ一気に流れることを抑制する計画とします。

基本設計(案)中間報告 区民説明会での主な意見

東1期棟について

- 10階建ては景観を損なうのではないか。全体をならして7階建て程度とするべきではないか。
- 現在の設計案は、現庁舎の設計コンセプトである「区民が親しみやすいヒューマンなスケール」になっていない。
- 区民会館と東1期棟は非常に接近して建つようだが、空間特質の継承を損なうのではないか。

リングテラスについて

- リングテラスは区民会館の折板構造を隠してしまうので、望ましくない。
- リングテラスにより日影が出来て暗くなるのではないか。日影図には反映できているのか。

災害対策について

- 電気室、発電機室が地下に配置されているが、想定外の豪雨があった場合の対応はできているのか。

今後の予定について

年度	平成30年度												平成31年度		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
工程	基本設計												実施設計		
区	基本設計方針案策定		基本設計方針案策定		「基本設計案中間報告」及び「世田谷区民会館整備方針策定へ向けた区の考え方」策定				区民会館整備方針策定		基本設計案策定		基本設計完成		
世田谷 リング会議 (基本設計中 4回程度)	第1回 5/13		第2回 7/28		第3回 11/3				第4回 12/22						
区民説明会	基本設計方針案説明 (全体1回) 6/3		基本設計案中間報告 (5地域各1回) 9/22~24												

※ 区民説明会は今後も開催する(日程は未定)